

未来につなぐ公共施設のあり方を考えませんか？

小平市 公共施設マネジメント市民会議ニュース

VOL.3 平成27年6月30日

第3回 小平市公共施設マネジメント市民会議

- 日時：平成27年6月27日(土曜) 午後2時～午後4時
- 場所：中央公民館 講座室2
- 概要：① 開会
② 前回会議の振り返り
③ 「機能の視点」の説明
④ ワークショップ【テーマ：公共施設における「機能」】
⑤ 閉会



将来の社会情勢の変化などを見据え、これからの公共施設のあり方について話し合う小平市公共施設マネジメント市民会議を4回シリーズで開催しています。

第3回目となる今回の内容は、前回の会議で話し合ったことなどを参加された方にお話していただき、行政経営課から今回のテーマとなる「公共施設における機能」の視点についての説明を行った後に、2グループに分かれワークショップを行いました。

ワークショップの概要

ステップ1 職員説明

今回のテーマである「公共施設における『機能』」について、行政経営課から、ワークショップの前段として必要とされる知識や情報を提供する。

ステップ2 意見出し

グループに分かれ、将来の人口減少に伴う公共施設の縮減を想像しながら、「機能」の視点から感じたことなどを付箋に書き、意見出しを行う。

- ※テーマ（グループ毎検討）
- ①子ども・若者にとっての機能
 - ②高齢者にとっての機能

ステップ3 発表

意見出しから見える課題への解決策を書いた付箋を模造紙に貼り、グループのメンバーから出された意見をまとめていく。

最後に、グループで発表者などの役割を決めて意見を発表する。



市民会議の様子



グループワークの様子



発表の様子

裏面につづく



【今回のポイント】公共施設における「機能」とは



公共施設には様々な「機能」があります。例えば「学校教育」や「運動」、そして「集会」などが挙げられます。市では、これらの機能を提供するため「小学校・中学校」や「市民総合体育館」、そして「地域センター」などの公共施設を整備してきました。未来を見据えた公共施設のあり方を考えるうえでは、多様な「機能」をどのような視点で見えていくかということが重要となります。従来は、例えば学校施設は「学校教育」のためだけの施設とする「1建物1機能」という視点がありました。しかし、将来の社会情勢の変化に柔軟に対応するためには、例えば小平第六小学校が「学校教育」だけでなく、地域の方も利用できる「地域開放」も行っているといった「1建物複数機能」の視点が大切となります。このことを踏まえ、従来の「施設ありきの機能」という発想から、ニーズに応える「機能」を考え、そして「機能」に見合う施設を整備するといった「機能から施設を考える」視点が大切な要素となってきます。

「機能」には「類似機能」という視点もあります。例えば、公民館や地域センターなどは、会議等の目的で部屋を借りる「集会」という類似した機能を有しています。また、民間企業も公共施設と類似する「機能」を提供するなど、「機能」を提供するのは行政だけではなく様々な担い手もいるということがわかります。

■ワークショップで出た主な意見

① 「子ども・若者にとって望まれる機能」(2060年(45年後)頃を想定)

- ・核家族化が進み、世代間の交流が減ることで世代間の溝や交流していく能力が低下してきている。公共施設の機能を複合化するなどで解決してはどうか。
- ・多世代が「集う」ことができ、そこで子ども・若者が「遊び」「学ぶ」ことができるような機能が良い。
- ・例えば、地域センターと児童館のように、既に複合施設となっている「機能」間での交流を行っていく取組みも必要ではないか。
- ・機能の複合化に際しては、法令による問題を解決しなければならないが、行政の縦割りによって機能の複合化ができないようではいけない。行政間での連携をしていくこと。

② 「高齢者にとって望まれる機能」(2060年(45年後)頃を想定)

- ・空き家を利用するなど、高齢者でも歩いて行ける距離に「集う」場を整備してはどうか。
- ・インターネットなどを活用し、在宅でも用件が済ませられるようにすると良い。
- ・多世代が多目的に利用できる複合機能を持った公共施設が望まれるのではないか。
- ・行政が全ての機能を提供するのではなく、民間が民間の得意分野における機能を提供し、多様なニーズに対応できるようにしてはどうか。
- ・様々な公共施設の機能を集約することで、公共施設の魅力と価値を高めてはどうか。
- ・国・都・市が持つ公共施設の類似機能の整理をしてはどうか。



今後の予定

第4回(最終回)7月18日(土曜)中央公民館 講座室2 午後2時~4時

【お問合せ】

小平市 企画政策部 行政経営課
〒187-8701 小平市小川町2-1333
TEL 042-346-9756 FAX 042-346-9513
メールアドレス gyoseikeiei@city.kodaira.lg.jp